

Sueno-Matsuyama (Houkokuji Temple)

すえのまつやま ほうこくじ  
末の松山(宝国寺)

☑多賀城市八幡 2-8-28

☎022-364-5901 (多賀城市観光協会)

歴史  
(成り立ち)

末の松山は、神亀元年(724)陸奥に国府が置かれ、古代東北の政治の中心地として栄えた多賀城の南にある。男女の恋愛をテーマにする歌枕として用いられ、清少納言の父 清原元輔や、藤原興風など多くの歌人が歌を詠んだ。「契りきな かたみに袖をしぼりつつ 末の松山 波越さじとは」【お互いに袖の涙を絞りながら約束したよね、末の松山を波が越すことのないように、決して心変わりはいしまいと】(後拾遺和歌集 清原元輔)

元禄2年(1689)、この地を訪れた松尾芭蕉には、2本の松が寄り添う男女のように見えた。しかし周辺には墓が並び、永遠の愛を誓った男女ですらこのような姿になってしまうのかと、無常を感じている。平成26年(2014)「おくのほそみち風景地」に認定され、平成28年(2016)には、日本遺産に指定された歴史ある歌枕の地である。

震災に  
まつわる物語

「この辺りでは『地震が来たら、末の松山かお寺に逃げなさい』といわれてきました。過去の貞観、慶長の津波の際も、皆ここを目指して逃げたのです」と話すのは、宝国寺の住職・加藤秀幸氏。末の松山に隣接する寺の歴史は古く、多賀城に国府があった頃に遡る。東日本大震災時も、大勢の市民が末の松山を駆け上った。波は本堂の階段下で止まり、およそ200人が難を逃れた。震災当日の後、寺では約100人の避難者を受け入れた。

加藤氏が幼い頃、松は今より枝ぶりが良く高さもあった。周りに大きな建物もなく、松を目指せば寺に辿り着けた。「昔から震災時は、この松のおかげで皆助かったようなものです。親から子、子から孫へきちんと教えていかねばなりません」。推定樹齢480年。現在、寺には後継の松が育っている。



平安の昔から、津波の記憶をとどめた末の松山

# TOPICS

## 見る ① 特別史跡 多賀城跡附寺跡

多賀城は神亀元年（約1300年前）に、大野東人によって創建。東北地方の統治のため陸奥国府と鎮守府が設置された。約900m四方の史跡内には、重要な政務や儀式を行った政庁跡や、城内の主要路である政庁～南門間道路等がある。なお、平城宮跡（奈良県）・太宰府跡（福岡県）とともに、日本三大史跡に指定されている。丘陵上にあり、仙台湾や仙台平野を一望できる。



㊦ 多賀城市市川城前  
 ☎ 022-364-5901  
 (多賀城市観光協会事務局)  
 ㊦ 180台  
 ㊦ 見学自由  
 ㊦ なし

## 見る ② 多賀城市立図書館

平成28年(2016)3月、リニューアルオープン。個性と文化の集う地域の「家」をコンセプトとしており、家族や仲間など誰もが気軽に集まれる場所として人気。1階はリビング、2階は書斎、3階は勉強部屋をイメージしている。同じ駅北ビルA棟には、書店・カフェ・コンビニ・レストランが併設されている。



㊦ 多賀城市中央 2-4-3 ☎ 022-368-6226  
 ㊦ 351台 (近隣公共施設共用)  
 ㊦ 9:00～21:30 ㊦ 年中無休



## 食べる ③ 味処 くいしん坊

上品な料理を楽しめる創業40年の居酒屋。地元住民から旅行者客まで幅広く支持されている。「店にかかわる人、全員を大切に」をモットーに、地場の食材や旬のモノを使った、こだわりの料理を提供している。ランチは「天婦羅・刺身ご膳」が人気。味も量も満足いく一品。夜は、きき酒師の資格を持つ店長が厳選した、多種多様な日本酒・梅酒が揃う。



㊦ 多賀城市中央 2-10-11  
 ☎ 022-355-8330  
 ㊦ 約10台  
 ㊦ 11:30～13:30  
 17:00～22:30 (LO22:00)  
 ㊦ 日曜・祝

## 食べる ④ イタリア食堂 PINO

平成28年(2016)6月にオープンした、おしゃれなイタリア料理店。ランチ・ディナーともに、アレンジのきいたメニューで人気のため電話予約必須。おすすめランチは「本日のパスタ ※限定10食」。メインをより引き立てるセットのサラダも、旬や鮮度にこだわりぬいた一品。定期的にメニュー変更されるため、何度行っても楽しめる。



㊦ 多賀城市八幡 3-4-38 ☎ 022-349-4988  
 ㊦ 1台 ㊦ 11:30～15:00 (日曜除く) 18:00～22:30 ㊦ 月曜

## 食べる ⑤ ぐりーんてい と器和

地域住民の憩いの場。お茶をしつつ、和雑貨や洋服等の買い物もできる。多賀城ならではの土産も充実。被災地に生きる人の心に寄り添う店主が優しく迎えてくれる。店主おすすめは抹茶セット。その場で点てる抹茶と手作りシフォンケーキが心を和ませる。夏にはあんみつなども。民家の佇まいだが、気軽に来店を。(コーヒーの提供はなし)



㊦ 多賀城市町前 2-4-6  
 ☎ 022-364-6639 ㊦ 5台  
 ㊦ 11:00～18:00 ㊦ 月曜 他不定休

## 食べる ⑥ MURATA

知る人ぞ知る洋菓子の名店。ヨーロッパを彷彿とさせる店舗づくりで、入店からその世界感に引き込まれる。看板商品のマカロンは10年の歳月をかけて作り上げた自信作。店に並ぶフランス菓子は、どれも世界基準の美味しさを追求しており、口にした多くの人を魅了する。MURATAのお菓子を求めて、多賀城市に足を運ぶ人が絶えない。



㊦ 多賀城市町前 3-2-25 ☎ 022-362-7767 ㊦ 13台 ㊦ 平日 9:30～19:00 日曜・祝日 9:30～18:30 ㊦ 火曜 月半ばの水曜 ※年間の定休日はHPを確認

## 遊ぶ ⑦ 松島蒲鉾本舗 多賀城工場直営売店

松島に本店を構えるかまぼこの老舗。震災を機に多賀城へ工場を移転。定番「笹かまぼこ」はもちろん、人気のお豆腐揚げまぼこ「むう」など、売店で出来たての商品を購入できる。工場内は自由に見学もできるが、予約制のガイドツアーがおすす。笹かまぼこの手焼き体験や、「むう揚げたて」の賞味も忘れずに。



㊦ 多賀城市八幡字一本柳 3-5 さんみらい多賀城・復興団地内 ☎ 022-354-4016 (見学・体験予約) 022-766-8830 (店舗) ㊦ 約70台 ㊦ 9:30～17:00 ㊦ 1/1

# DATA BANK

料金・施設などのデータは、2017年3月現在のものです。

## 泊まる

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
8	ホテル ルートイン 多賀城駅東	多賀城駅徒歩約7分。大浴場あり	☑多賀城市八幡 4-4-77 ☎050-5847-7301 ☒120台 ☒スタンダードプラン 1泊 2食付大人1名 6,800円～/スタンダードプラン 1泊朝食付 大人1名 6,000円～



## 見る

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
9	とうほくれき しほくつかん 東北歴史博物館	旧石器時代から近現代までの東北地方の歴史を、広くわかりやすく	☑多賀城市高崎 1-22-1 ☎022-368-0106 ☒191台 ☒9:30～17:00 ㊟月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始 ☒常設展 一般 400円、小中高生 無料
10	しと たがじょうかんこう 史都多賀城観光案内所	観光協会キャラクター「たがもん」が目印。古代米グルメブランド「しろのむらさき」も	☑多賀城市中央 2-7-1 (JR 仙石線多賀城駅構内) ☎022-364-5901 ☒なし ☒9:00～17:00 ㊟無休(年末年始休業あり)

## 食べる

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
11	しせき あかり 史跡の灯り おらが店 鳥善	新鮮なお刺身や季節の炊き込みご飯が美味しい人気和食店	☑多賀城市桜木 3-1-10 ☎022-365-5958 ☒20台 ☒11:30～13:30 17:00～22:00 (LO21:30) ㊟日曜・祝日
12	フミキリカフェ	下馬駅の踏切の前にある、小さくかわいカフェ	☑多賀城市下馬 1-4-20 ☎080-9011-0495 ☒4台 ☒10:00～18:00 ㊟木曜・日曜・祝日
13	らーめん 蔵	行列ができる人気店。スープは魚介系醤油、とんこつのもろみ。麺の太さも選べる	☑多賀城市大代 5-2-47-2 ☎022-365-3681 ☒18台 ☒11:00～19:30 ※スープなくなり次第終了 ㊟火曜・第4月曜
14	しよくじあんどきつて 食事&喫茶 ぶおへの	ゆったりした雰囲気、手づくり定食が魅力。占い(予約制)を楽しめることでも有名	☑多賀城市高崎 2-15-10 ☎022-309-6555 ☒11台 ☒10:00～18:00 ㊟日曜
15	てんねんこうぼ せんもんてん 天然酵母専門店 こうーあん	多賀城市民に人気のパン屋さん。デニッシュコロネ 185円。イートインあり	☑多賀城市伝上山 3-1-25 ☎022-365-8383 ☒14台 ☒火～金 9:00～18:30 土・日・祝 8:30～18:30 ㊟月曜

## 遊ぶ

	名称	ひとことコメント	インフォメーション
16	コミュニティカフェ & ガイドツアー タガの柵	多賀城市内外のヒト・モノ・コトの交流をしかける。市内ガイドツアー 随時開催 (要予約)	☑多賀城市山王字千刈田 6-3 ☎022-702-3277 ☒なし ☒10:00～16:00 ㊟水曜 ☒ガイドツアー参加費 2,000円～

A コースは市内の歌枕、B コースは史跡を巡る。両コースに入っている沖の石 (井) は百人一首で「我が袖は潮干に見えぬ沖の石の人こそ知らぬ乾く間もなし」(二条院讃岐)と詠われる。また、毎年6月下旬には「あやめ祭り」が、政庁跡や多賀城碑近くのあやめ園で開催される。時期が合えば是非。

## 多賀城っ子 推せん

## ウォーキング コース

コース A	JR 仙石線 多賀城駅 — 700m・10分 — 末の松山 (巡礼地) — 85m・1分 — 沖の石 — 1.7km・25分 — おもわくの橋・野田の玉川 — 500m・8分 — 多賀城市文化センター・埋蔵文化財調査センター・大伴家持歌碑 — 150m・2分 — 多賀城史遊館 — 700m・10分 — 多賀城市立図書館・JR 仙石線 多賀城駅
コース B	JR 仙石線 多賀城駅 — 700m・10分 — 末の松山 (巡礼地) — 85m・1分 — 沖の石 — 650m・9分 — 多賀城市立図書館 — 1.5km・20分 — 多賀城廃寺跡 — 350m・6分 — 東北歴史博物館・今野家住宅 — 950m・12分 — 多賀城碑 — 450m・7分 — 多賀城政庁跡 — 1.2km・15分 — JR 東北本線 国府多賀城駅